

放電加工機

1. MV1200R ワイヤ放電加工機

ワイヤ放電加工とは 0.1~0.3mmまでのワイヤ状の電極線を使い、糸鋸のように金属を切断する機械である。加工液中の材料にワイヤ電極を近づけて放電し、ワイヤをNC制御によって二次元の微細な輪郭加工が出来る。また切削加工のように削ることがなく、ワイヤ電極の熱により材料を溶かしながら加工していくため、薄板を精密加工することや、通電する材料であれば加工物の硬さに関係なく加工することができる。

2. 細穴放電加工機

従来のドリルなどを用いた穴あけ加工ではできない、 $\phi 0.1\sim 3\text{mm}$ までの小径の穴加工が可能で、ワイヤ放電加工機と同じように通電すれば材料の硬さに関係なく穴を空けることができる。また細穴放電加工機はドリル加工ではアスペクト比（深さ/穴径）が10程度であるが、細穴放電加工機では100程度まで加工することができ、加工穴のバリの発生がないなどの特徴がある。

機械本体 標準仕様			
ワイヤ放電加工機	型式	MV1200R	RH3525
	工作物最大寸法[mm]	810×70×215	600×300×100
	工作物許容質量[kg]	500	250
	テーブル寸法[mm]	640×540	600×300
	軸移動量 (X×Y×Z) [mm]	400×300×220	350×250×350
	軸移動量 (U×V) [mm]	±60×±60	なし
	最大テーパ角度[°]	15°	なし
	ワイヤ電極径[mm]	$\phi 0.10\sim 0.30$	$\phi 0.10\sim 3.0$
	質量 (乾燥)[kg]	2700	800